

名大

究極のエコ・ユビキタス実現へ

いつでも、どこでも、だれでもコミュニケーションできる「ユビキタス環境」を構築するためには、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。

(名古屋・鈴木俊彦)

スマートルーム

ユビキタス環境とは多種多様な情報機器やネットワークをいつでも、特別な意識をしなくても利用できる環境をいう。こうしたユビキタス環境を実現する基盤ソフトウェアは、いつでもネットワークに接続できる「ユビキタス・ネットワーク」と、ユーザー支援の「ユビキタス・コンピューティング」という二つの意味を含んでいる。

で、ユビキタス・コンピューティングは、簡単にいうと「複数の情報機器を連携して利用し、利便性が向上する」といふこと。名古屋大学の河川信夫助教は説明する。現在、実用化に向けた研究開発が進んでいる段階だ。

河川助教は、名大のインフォメーション施設内にある「ユビキタス・ネットワーク」を例に説明する。ここでは、研究室にユビキタス環境を構築するために、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。

研究室内にユビキタス環境を構築するために、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。

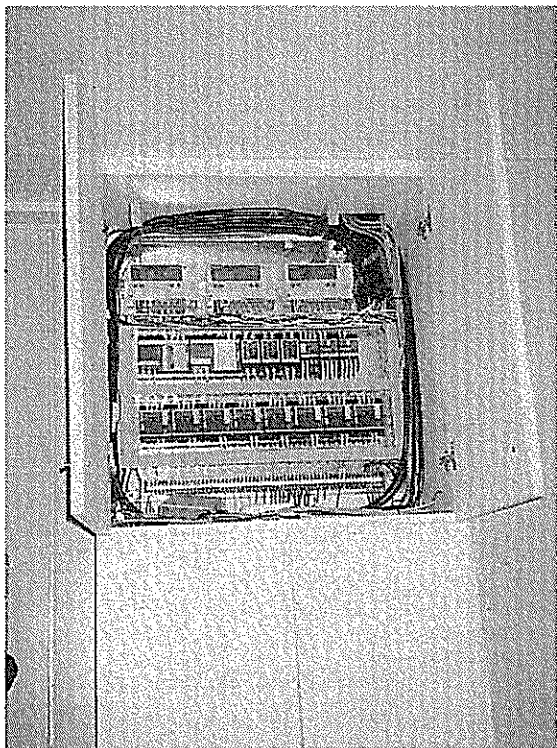
河川助教は、名大のインフォメーション施設内にある「ユビキタス・ネットワーク」を例に説明する。ここでは、研究室にユビキタス環境を構築するために、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。

河川助教は、名大のインフォメーション施設内にある「ユビキタス・ネットワーク」を例に説明する。ここでは、研究室にユビキタス環境を構築するために、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。

河川助教は、名大のインフォメーション施設内にある「ユビキタス・ネットワーク」を例に説明する。ここでは、研究室にユビキタス環境を構築するために、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。

河川助教は、名大のインフォメーション施設内にある「ユビキタス・ネットワーク」を例に説明する。ここでは、研究室にユビキタス環境を構築するために、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。

人、環境負荷低減に配慮



ユビキタス環境の制御ボックス

消費電力監視

照明、室内温度を最適化

基盤ソフトで情報機器連携

ユビキタス・ネットワークは、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

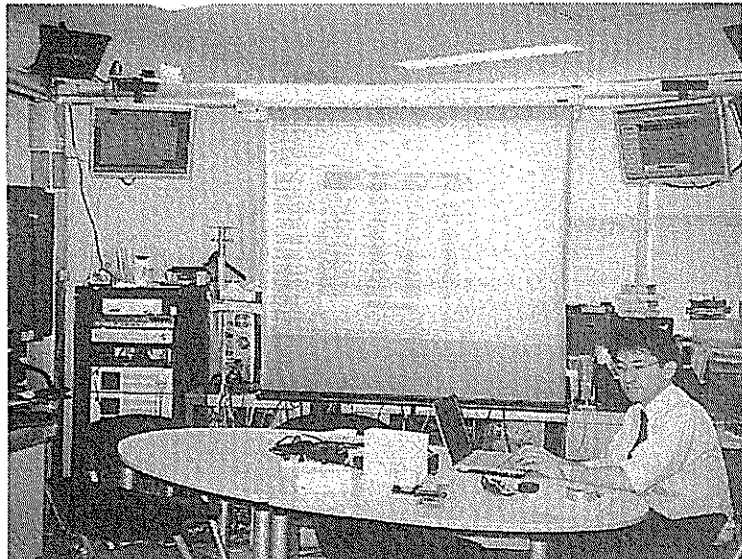
「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方



ユビキタス環境空間

先端技術

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方、消費電力監視、照明、室内温度を最適化、基盤ソフトで情報機器連携など、環境負荷低減に配慮した技術の開発が進んでいる。名古屋大学の河川信夫助教は、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されていると説明する。現在、実用化に向けた研究開発が進んでいる段階だ。河川助教は、名大のインフォメーション施設内にある「ユビキタス・ネットワーク」を例に説明する。ここでは、研究室にユビキタス環境を構築するために、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。

「ユビキタス・ネットワーク」は、すでに無線LANを中心に普及が進んでいる。一方、消費電力監視、照明、室内温度を最適化、基盤ソフトで情報機器連携など、環境負荷低減に配慮した技術の開発が進んでいる。名古屋大学の河川信夫助教は、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されていると説明する。現在、実用化に向けた研究開発が進んでいる段階だ。河川助教は、名大のインフォメーション施設内にある「ユビキタス・ネットワーク」を例に説明する。ここでは、研究室にユビキタス環境を構築するために、さまざまな情報機器やネットワークを統合して利用できる基盤ソフトウェアが必要だ。ネットワーク接続や情報機器間の協調・連携動作などの機能性追求に加え、最新のユビキタス基盤ソフトウェアでは環境負荷低減など従来の情報システムでもあまり考慮してこなかった要件が重視されている。ユビキタス環境の発展に、人や環境への配慮が不可欠になっている。